

【文部科学記者会、厚生労働記者会、科学記者会、大阪科学・大学記者クラブ、和歌山県政担当記者クラブに配布】

令和5年12月28日	
資料提供	
担当	和歌山県立医科大学 【取材に関すること】事務局広報室 上野山室長、岩本準主事（内線5731） 【内容に関すること】解剖学第二講座 森川吉博 教授（内線5156）
電話	073-447-2300（大学代表）

和歌山県立医科大学記者発表

アトピー性皮膚炎の新規抗体療法の開発 —皮膚炎症と痒みの同時制御に成功—

この度、和歌山県立医科大学からの記者発表を以下のとおり実施いたしますので、報道関係の皆様方のご参加賜りますようお願い申し上げます。

日時及び場所

日時：令和6年1月5日（金） 13：30～（約20分＋質疑）

場所：和歌山県立医科大学 生涯研修センター研修室（図書館棟3階）

Web上（ZOOM）オンラインでも開催

発表者

本学医学部 解剖学第二講座 教授 森川吉博（もりかわ よしひろ）

准教授 小森忠祐（こもり ただすけ）

発表の概要

アトピー性皮膚炎は増悪と緩解を繰り返す搔痒^{かんかい}を伴う湿疹病変で、激烈な搔痒^{そうよう}のために睡眠が妨げられるなど生活の質を著しく損なうのみならず、顔面や頸部に好発する湿疹は社会生活に支障をきたすことも少なくない。激しい痒みに反応して搔く行動は皮膚炎症を悪化させ、それがさらなる痒みと搔きたくなる衝動を誘発するため、このサイクルの遮断が治療のためには最も重要である。今回、アトピー性皮膚炎のモデルマウスを用いて、その症状の発症・増悪に関連する2つのサイトカインに共通の受容体サブユニットに対する抗体を投与することで、皮膚の炎症と搔痒を同時に制御し、アトピー性皮膚炎の症状を著明に改善する治療法を開発した。

【本学に来られる場合】

申し込みは不要です。

【オンラインで参加の場合】

事前にメールにて「件名：1/5 オンライン記者発表 参加申込」「本文：報道機関名、氏名」を記載のうえ、以下のメールアドレスまで送信ください（発表5分前まで受付）。参加に必要なURLを返信いたします。

メールアドレス： kouhou@wakayama-med.ac.jp

その他

本学へお車で来られる方は管理棟前の来客用駐車場を開放しますので、空いている駐車スペースをご利用ください。事前のご照会等につきましては、担当者までお問い合わせください。